

令和 8 年度 B A サイト液体窒素売買単価契約
(大口発注)

仕様書

令和 7 年 12 月

国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構

1. 件名 令和8年度BAサイト液体窒素売買単価契約（大口発注）

2. 目的

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構（以下「QST」という。）では、幅広いアプローチ(BA)活動の一環として国際核融合材料照射施設(IFMIF)の工学実証・工学設計活動(EVEDA)事業を実施しており、六ヶ所フュージョンエネルギー研究所では、9MeV/125mA CW の大電流重陽子ビームを生成するIFMIF/EVEDA原型加速器（以下「原型加速器」という。）の開発が日欧共同で進められている。原型加速器は、入射器、高周波四重極線形加速器(RFQ)、初段の超伝導加速器(SRF)等から成り、それらの各機器は欧州で製作された後、順次、QST六ヶ所BAサイトへ搬入され、据付・調整されビームを用いた加速器の性能実証試験が行われる。

本件は、超伝導加速器空洞の冷却に必要な液体ヘリウムを製造するためのクライオプラント用液体窒素の購入について定めたものである。

3. 仕様・規格

- 1) 純度 : 99.999%以上、ローリー渡し

4. 購入方法

QST 保有の液体窒素タンク（C10-9700L型、9700リットル充填可能）に、原則として3ヶ月に1回程度の割合で10,000kg程度を年間3回、加えて2週間に1回程度の割合で20,000kgを年間6回充填するものとする。ただし、QSTが必要と認めた場合は、上記によらず購入できるものとする。なお、詳細についてはQST担当者と協議の上、決定すること。

5. 発注予定数量

停止期間中：10,000kg/3ヶ月×3回、年間30,000kg、
運転期間中：20,000kg/2週間×6回、年間120,000kg、
年間総量：150,000kg

ただし、発注数量に増減が生じた場合でも異議を申し立てないこととする。

6. 納入場所

青森県上北郡六ヶ所村大字尾駸字表館2-166

QST 六ヶ所フュージョンエネルギー研究所 IFMIF/EVEDA 開発試験棟

7. 契約期間

令和8年4月1日～令和9年3月31日

8. 提出書類

納品書・・・・・・・・・・1部

9. 検査条件

提出書類の確認及び仕様書に定めるところにしたがって、業務が実施されたことをQSTが認めたときをもって検査合格とする。

（要求者）

部課（室）名：六ヶ所フュージョンエネルギー研究所
核融合炉材料研究開発部
IFMIF 加速器施設開発グループ

氏 名： 蛭沢 貴

以上